

Action Plan (令和7年度実施)

April 4月

- ・未来共創室ガイダンス
- ・多言語ラボ募集開始 (中国語・ドイツ語)
- ・サギノー語学研修文化交流推進事業セレクションテスト



May 5月

- ・多言語ラボ・中国語開始
- ・志望理由書テスト
- ・サギノー語学研修文化交流推進事業説明会



June 6月

- ・志望理由書講座
- ・京大 ELCAS、阪大 SEEDS、神戸大 ROOT参加
- ・10スライド
- ・阿波女あきんど塾講演会



July 7月

- ・分野別学習会
- ・サギノー語学研修
- ・理数科セミナー (東京・京都)
- ・多言語ラボ (中国語)



August 8月

- ・MIRA-GE NEXT
- ・高校生ボランティア・アワード
- ・関西湾岸SDGsチャレンジフィールドワーク
- ・徳島大学サイエンスカフェ
- ・多言語ラボ (中国語)



September 9月

- ・卒業生に学ぶ・サマーセミナー
- ・JSL (医学部)
- ・多言語ラボ (中国語)
- ・JSL (歯学部)



October 10月

- ・分野別ゼミ
- ・多文化キャラバン
- ・徳島調べクラス発表会
- ・台湾姉妹校研修説明会
- ・MASH UP STAGE



November 11月

- ・IRP中間発表
- ・関西湾岸SDGsチャレンジ成果発表会
- ・ふるさとカーニバル
- ・多言語ラボ (ドイツ語)



December 12月

- ・キャリアガイダンス
- ・課題研究発表会
- ・徳大医学部スキルラボ
- ・台湾姉妹校交流研修
- ・SB Student Ambassador 国際大会
- ・多言語ラボ (ドイツ語)



January 1月

- ・徳島大学キャリア形成セミナー
- ・徳大留学生交流会
- ・ウアイヌコロ会議



February 2月

- ・グローバル出張授業
- ・IRP最終発表会
- ・市長とくるま座トーク



March 3月

- ・IRP全体発表会
- ・市高フォーラム
- ・京都大学ポスターセッション
- ・SSH科学部合同研究発表会
- ・JSL (生物資源産業学部)



徳島新聞 2026年2月8日掲載
徳島市高キャラ 誕生間近

徳島新聞 2026年3月30日掲載
大草さんと木谷さん(市立高)

徳島新聞 2025年10月29日掲載
2年生、企業と連携し作成

徳島新聞 2025年10月30日掲載
臓器移植啓発へ本カバー

徳島新聞 2025年9月2日掲載
日米高校生サミット

徳島新聞 2025年10月30日掲載
日佐八幡神社の秋祭り

徳島新聞 2025年10月30日掲載
ちようさ担ぐ 若き外科医

徳島新聞 2025年10月30日掲載
スエッチ帳

徳島新聞 2025年10月30日掲載
県内の2生徒参加

ワークショップや意見交換

市高 × 未来

未来共創室

徳島市立高等学校

Always Outgrowing

答えはぜんぶ
自分の中にある

知らないことは
マイナスではない

市高で未来をつくる

挑戦を続ける
人になろう

はみ出さないと
生み出せない



国内外の地域や大学・企業と連携し 君たちの「正解」を社会へ!!

未来共創室は、高校生の「思考力」と「対話力」を育成するため、国内外の地域や大学・企業と連携し、幅広い教育活動を展開しています。これまでに学んだ知識を実社会で活用するためには、多様な社会や文化、価値観に触れ、自分の住む地域を俯瞰しながら課題を発見する力が不可欠です。

本校では、「市高レインボウプラン (IRP)」や「理数科セミナー」を通して、地元徳島への理解を出発点に、地域と世界をつなぐ思考力と解決策を共創する対話力を育み、社会で活躍できる人材の育成を目指しています。

また、開校当初より海外留学や留学生の受け入れなど、国際交流を継続して実施しています。徳島市の姉妹都市であるアメリカ・ミシガン州サギノー市との交換留学は、平成20年度に開始され、平成24年度からは語学研修文化交流推進事業として引き継がれています。これらの取り組みを通して、国際社会で活躍するための広い視野を持つ生徒の育成を図っています。



IRP

本校の総合的な探究の時間は、「市高レインボウプラン (IRP)」と名付けられています。この授業では、産学官連携のもと、私たちが暮らす徳島の地域課題を自ら発見し、その解決に向けた探究を行います。単なる課題解決にとどまらず、社会に新たな価値や仕組みを生み出すイノベーションを目指します。



NARUTO KINTOKI PARFAIT
市高生 × YUSAKU SHIBATA
PRISM LAB Collaboration
Potato Parfait Project by Kimoto Farm

秋月：スイーツ大好き
岸本：実は元争論部
井内：笑顔担当
さつまいもの魅力を最大限に活かした一品です!!
ぜひ食べてみてください!
多田津：味見はまかせろ!
庄司：糖屋布新LOVE
西：好きなお菓子はシュークリーム

PRISM LAB 坂田さん、きもと農園さんと協力し、市高生14名で甘さ控えめのスイーツパフェを開発しました!!
糖質低減の方にも配慮した、やさしい味わいです!

東田氏：糖質はドライブ
木元氏：旅行が趣味
奥田：おしゃべり担当
志賀オフにもこだわり、食べるだけで幸せになれるスイーツを目指しました!

岩城：髪巻
岡西：ゴミ箱前中
佐藤：味より見た目
船橋：マイブームはパン作り
島田の魅力で地域の課題を解決できないか考えたことが、今回のスイーツ開発につながりました!

船橋：実は菓子大好キ

高大ボーダレス

- ・関西湾岸SDGsチャレンジ
- ・理数科セミナー
- ・市高ドナーアクション啓発委員会
- ・京都大学ポスターセッション
- ・徳島大学 Jr. Student Lab (JSL)

このプロジェクトではSDGsのことについてはもちろん、私が住んでいる徳島についてや、自分の意見をしっかり相手に伝えることの大切さなど、非常にたくさんのごとについて学ぶことができました。中でも意見を言うことの大切さについては、自分の中の既存の観念がなくなり、今後の人生においてとても重要な「気づき」となりました。(関西湾岸SDGs)

「知らないことはマイナスではない」という京都大学の本庶先生の言葉がとても心に残った。知らないことは恥ずかしいことだから誰にもばれたくない、頼りたくないと思っていた。この言葉を聞いて、知らないことは自分を気づかせてくれる大事なものだと思えるようになった。(理数科セミナー)

国際コミュニティ

- ・台湾姉妹校交流
- ・サギノー語学研修文化交流推進事業
- ・市高多言語ラボ(中国語・ドイツ語)
- ・徳島大学留学生交流会
- ・グローバル出張授業

ホームステイを通して現地の人と一緒に生活することで、台湾の暮らしをより身近に感じることができました。台湾華語を教えてもらったり、日本語を教えたりして、お互いの気持ちが通じたときはとても嬉しかったです。(台湾交流)

言語だけでなく、「隠れドイツ人度診断」などを通してドイツの文化についても学ぶことができました。初めて知ることや驚くことがたくさんあり、とても嬉しかったです。特に、ドイツでは自分の誕生日パーティーを自分で準備するというのを知って、とても衝撃を受けました。(多言語ラボ)

インドでは、毎日ナンを食べるわけではないと知って、とてもびっくりしました。台湾のタピオカ屋さんでは、砂糖や氷の量を自分で選べると教えてもらい面白いと思いました。(留学生交流会)



地域デザイン

- ・多文化キャラバン
- ・市高フォーラム
- ・マルシェ出店
- ・市長とくま座トーク

株式会社「あわえ」の代表取締役吉田基晴さんの「徳島は人口が少なく経済的には遅れているかもしれないが、逆に人口減少に関する対策が一番進んでいる。それは大きな武器である」という言葉が最も心に残りました。(多文化キャラバン)

自分の持ち味を生かして、これからの社会貢献をすることに私も参加したいと思っています。「きっかけをチャンスに」視野を広くして、これからの高校生活に繋げていきたいと思っています。(セダツナ)



市高プラットホーム

- ・キャリアガイダンス
- ・サマーセミナー
- ・卒業生に学ぶ
- ・阿波女塾講演会

日々目標を持ち、それに向かって努力することで、「なぜ勉強するのか」が分かるような気がしました。大学はもちろん「学びの場」ではありますが、たくさんの人と出会い、自分を見つめ直す場でもあることがわかりました。改めて、大学に行きたいと思いました。(卒業生に学ぶ)

留学や地域創生が身近な挑戦へと変わり、同世代の行動力や講演から「社会問題をチャンスにする」視点を学びました。自分も一歩踏み出し、地域や社会に関わっていきたく強く感じました。(市高フォーラム)

